



耐久高等学校同窓会報

耐久



稲むらの火の館(濱口梧陵記念館・津波防災教育センター)開館

濱口梧陵ゆかりの地(広川町広)に『稲むらの火の館』が開館した。濱口梧陵の生涯や偉業を学ぶ「濱口梧陵記念館」と地震・津波防災を学び体験できる「津波防災教育センター」からなる。

NO. 20

平成十八年度 卒業式

第五十九回全日制・第五十一回定時制卒業式が、三月一日(木)挙行された。

岩橋校長は学校長式辞で、哲学者・梅原猛の「自己を確立する勇氣」やサルトルの「私は現実の行動に忠実であったから希望を持てた」などの言葉を紹介され、「人間性と希望を失わないこと。脳力と勇氣―自己表現を磨き幅広い知識を身につけること。またこの耐久の歴史と伝統に誇りを持つて頑張つてほしい」と語られた。

下野同窓会長は、「これからは対人間との関係―コミュニケーションが重要。積極的な挨拶や日常の何気ない会話の中に対人関係の鍵がある」と話された。また四年後に予定されている同窓会(組織強化事業)にも触れられ、今日からは同窓生として「母校を応援してほしい」と締めくくられた。

卒業生・在校生ともに厳粛で爽やかな態度で式に臨み、すがすがしい雰囲気にも包まれた素晴らしい卒業式となった。

なお当日、県教育委員会より森岡裕策生涯学習局スポーツ課長(S54卒理8期)が参列され、祝辞を述べられた。

平成十九年度 入学式

平成十九年度入学式は、四月九日(月)に挙行された。

今年度新たに着任された山崎正互校長は、一五〇年を超える伝統校である本校の建学の精神「自学自労」にふれながら、学問と心身鍛練に励むことを強調された。また「具体的な目標を立て努力すること」「平凡なことの徹底―非凡であること」「自分の価値・他人の価値を尊重すること」等について述べられた。そして「この耐久での高校生活を通して、人々に信頼され、社会に貢献する社会人を目指そう」と、新入生たちに語りかけられた。



これにより今年度、全日制普通科六クラス・二二七名、定時制二三名の入学が許可され、希望に満ちたスタートをきった。

母校に着任して思うこと



校長 山崎 正 互

再認識いたしました。私は、微力ながら全力を投入して、耐久高校の充実発展にあたって参りたいと決意を新たにしております。

旧制耐久中学校、有田高等女学校、耐久高等学校同窓会の皆様には公私にわたりご活躍のこととお慶び申し上げます。また、本校教育の充実発展のためにご支援をいただきまして、ありがとうございます。

私は、この4月に紀史館高等学校から転任して参りました。昭和43年に耐久高校を卒業してから、40年振りに母校に戻つて参りました。

着任後の5月、関東耐久会総会に出席させていただきました。また、下野憲英同窓会長様や多くの本校同窓生の皆様方とお会いすることができました。どなたとお話ししても、母校に対する熱い思いや卒業生としての強烈な自負心を感じました。

さらに、『耐久校史』(耐久校史編纂委員会)を読み返し、改めて本校の伝統・歴史の凄さと価値を

本校の創立以来受け継がれてきた精神は、「自学」「自労」「自助」「共助」だと思います。「私だけが良かったらよい」とする「私事化社会」と言われる現代社会において、その建学精神の意義が高まってきていると思います。私は、この精神を心底にもったリーダーを育てる学校づくり、地域に信頼され愛される学校づくりを目指してまいります。

- プロフィール
- ・有田市出身
 - ・耐久高等学校卒業(高20期)
 - ・鳴門教育大学大学院
 - ・日本学校心理士会和歌山支部長
 - ・趣味 ヨット
 - ・教職歴
 - ・田辺高等学校(6年)
 - ・南紀高等学校(7年)
 - ・御坊商工・紀史館高等学校(19年)
- この間、前任校教頭5年、校長1年目
今年4月、耐久高校長着任

関東耐久会

会長 九 鬼 利 郎
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002
株式会社 オフィス ココ 桜バンケット
Tel 03-3359-9520

関西耐久会

会長 萩 平 勲
〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-17-301 号
ビジネス インテグレート(株)
Tel 06-6941-8282

和歌山耐久会

会長 田 辺 善 彦
〒640-8144 和歌山四番丁 26 番地の 2
田辺法律事務所
Tel 073-431-2801

支部連絡先

有田耐久会の設立について

本校同窓会では、関東・関西・和歌山耐久会の各支部が、相互の親睦と交流を図り、母校の発展のため各々活動されています。

有田に住み、また有田に勤務する身近な同窓生が母校へのさらなる関心と連帯を強め、有田の教育の拠点でもある母校を支援していくために有田耐久会を発足したいと存じます。

以上の趣旨にご賛同を賜り、同窓各位のご参加とご協力をお願い致します。

会員資格

旧制耐久中学・有田高女・耐久高校に在学したことのある50歳以上の者で、有田地方及びその周辺地域に在住または勤務する者。

事業・特典

- ・ 総会の開催（原則として2年に1回）
- ・ 親睦会他必要な事業
- ・ 同窓会報の送付

会費

年2千円（毎年4月各会員の郵便局口座からの引き落としまたは指定郵便局口座への払込み）

◆ 総会のご案内 ◆

と き：平成19年10月28日（日）
 ところ：湯浅町地域福祉センター
 湯浅町道町北（TEL64-0408）
 受付：12：30
 第一部：13：00～

- ① 朗読劇「生ける神・濱口梧陵」とマンドリン演奏
耐久高校放送演劇部・マンドリン部と同窓会員有志
- ② 耐久4代表彰（耐久卒業または在学中が4代にわたる直径家族）
※耐久4代表彰に該当する家族は自薦他薦を問わず事務局までお知らせ下さい。

第二部：14：00～ 事業報告・会則改正案 他

懇親会 と き 15：00～17：00
 ところ キセイ（湯浅町道町）
 会費 2,000円

平成19年度 進路概況について

進路指導部長 田津原 博文

今年の大学入試は、センター試験平均点ダウンで幕が開いた。

5（6）教科7科目の平均点は、理系で30点も下がった。その結果、センター試験志願者が、0.4%増えたにもかかわらず、国公立大二次試験の志願者は3.3%減だった。センター試験実施以降、はじめて志願倍率が5倍を切った。

私立大学については、センター試験難化の影響もあって志願者増となった（大手予備校調査6%増）。特に難関大への人気が高くなっている。近年目立ち始めていた難関大人気は、今年より鮮明になったといえる。来年の大学入試もセンター試験の結果によるところが大きい。今年難化した反動で易化すると見られている。そうなると国公立大学の人気もさらにアップし、後期を廃止する大学が増えているため、前期一本勝負の色合いが濃くなりそうだと思う。

就職については、日本の経済は、企業収益が改善され、設備投資は増加し、個人消費も穏やかに増え景気の回復傾向が続いている。しかし、和歌山県に目を移すと、一部に経済の持続的な持ち直しの動きがあるものの、依然として厳しい状況が続いており、雇用失業情勢は、有効求人倍率が0.85倍と88ヶ月連続で全国平均を下回っている。今春、高卒者の就職内定率が三月末時点で93.4%と、昨年に比べ0.4ポイント上昇した。一方で、約120人の県下の高校生が就職先が決まらないまま卒業している。

今日、企業が求める人材の資質や能力は高度化している。「団塊の世代」の定年退職による雇用拡大に頼らず、社会人・職業人としての基本的な知識・生活習慣を培っていききたいものである。

(1) 平成19年3月卒業生進路状況

	進学								就職				その他	合計	
	大学				短大				専修各種	公務員	企業	家業			
	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計							
男	9	2	66	77	0	0	1	1	25	4	10	0	14	15	132
女	8	8	42	58	0	0	36	36	38	1	9	0	10	3	145
計	17	10	108	135	0	0	37	37	63	5	19	0	24	18	277

(2) 平成19年3月卒業生・過年度生 合格者数

	大学						短大						合計				
	国立		公立		私立		国立		公立		私立						
	現	過	計	現	過	計	現	過	計	現	過	計					
男	9	4	13	2	0	2	110	19	129	0	0	0	0	1	0	1	145
女	8	0	8	8	0	8	71	0	71	0	0	0	0	49	0	49	136
計	17	4	21	10	0	10	181	19	200	0	0	0	0	50	0	50	281

(3) 平成19年度国公立合格大学（過年度含む：平成19年3月30日現在）

- ・ 帯広畜産大 (1)
- ・ 信州大 (2)
- ・ 静岡大 (2)
- ・ 名古屋大 (1)
- ・ 神戸大 (1)
- ・ 和歌山大 (10)
- ・ 奈良教育大 (1)
- ・ 岡山大 (1)
- ・ 徳島大 (1)
- ・ 香川大 (1)
- ・ 富山県立大 (1)
- ・ 兵庫県立大 (1)
- ・ 和歌山県立医科大 保健看護学部 (7)
- ・ 高根県立大 (1)

(4) 平成19年度私立合格大学(抜粋)（過年度、指定校含む：平成19年3月30日現在）

- ・ 中央大 (1)
- ・ 明治大 (2)
- ・ 京都産業大 (22)
- ・ 京都女子大 (1)
- ・ 同志社大 (1)
- ・ 同志社女子大 (2)
- ・ 佛教大 (8)
- ・ 立命館大 (3)
- ・ 龍谷大 (20)
- ・ 大阪工業大 (10)
- ・ 関西大 (13)
- ・ 近畿大 (11)
- ・ 関西学院大 (4)
- ・ 甲南大 (1)

貸し出し用校章小旗と名札を用意しています。同期会の集いに、ご利用下さい。（事務局）

学校支援活動

「がんばれ母校！先輩が先生」



イズミヤ株式会社代表取締役社長 林 紀男氏

私の半生——可能性を信じて——

3月9日(金)午前10時より耐久高校体育館において恒例の講演会「頑張れ母校！先輩が先生」が開催された。今回の講師はイズミヤ株式会社代表取締役社長 林紀男氏。

「私の半生——可能性を信じて——と題して、ご自身がこれまで歩んでこられた経済界での貴重な経験を中心に講演していただいた。講演は、「チャレンジすることの大切さ」「自分の可能性を信じること」という全校生徒へのメッセージから始まった。そして、めざましく移り変わる社会の出来事と経済に目を向け、関心を持つことが大切であると語られた。

林氏のこれまでの人生には、三つの重要なターニングポイント(転機)があったという。一つめは、住友銀行入社三年目に経験した病気による1年半もの休職(入院・自宅療養)から職場復帰した事。氏は、創業以来40年伝わる住友の社訓「新しいことへの挑戦」を肝に銘じ、復帰後わずか五年で

大幅なハンデを克服する。二つめは、バブル経済崩壊—3000億円もの不良債権回収という未曾有の難題に200名の銀行スタッフと共に、前向きに取り組み乗り越えたこと。三つめは、イズミヤ転職後、小売業界混乱の真只中、前向きな若手メンバー中心の再建チーム「イズミヤ新生21計画」を発足させたことだ。

様々な危機に直面したとき、「前向きに明るく」「原因を問わず」「目標を明快にして」「モチベーションを高める」等のキーワードを武器に、ひるむことなく難局に立ち向かわれた林氏の姿勢——。種々の社会不安が残る昨今、今回の講演は私たちに一筋の光と勇気を与えるものであった。なお、全校生徒・教職員・同窓会役員をはじめとする同窓生(林氏の同期生)たちが本講演を聴講した。

プロフィール

- ・ 有田市出身
- ・ 耐久高校13期(昭和36年卒業)
- ・ 大阪大学法学部卒業
- ・ 住友銀行
- ・ 住友銀行専務取締役
- ・ イズミヤ株式会社 取締役副社長
- ・ イズミヤ株式会社 代表取締役社長(現任)
- ・ 日本チェーンストア協会 会長就任

林さんの話をきいて

2年6組11番 生駒 夕佳

今日は、林さんの話を聞いて可能性について色々なことが学べました。私の可能性は何なんだろうと考えました。

林さんは「自分の可能性を信じよう」と言っていました。やっぱり自分の可能性を信じていないと、ある可能性だっただけでなくなってしまうと思います。だから自分の可能性を信じ、それを広げていく事が大事だと、私は思います。

私には、将来なりたい職業があります。その職業につけるためにも、自分で今から可能性を大きくしていく事が必要だと思えます。今、私がある可能性を大きくするためにできる事は、「勉強をする」ということだと思えます。たくさん勉強して、いろんな知識を得る事によって、自分の進みたい大学にも行けるという可能性がでてきます。そして、自分の行きたい大学に入る事ができたら、また一歩自分の夢への可能性は広がった事になると思えます。そしてその大学で、またたくさんの事を学び、たくさんの知識を身につけることで、可能性はまた大きくなっていくと私は思えます。

このように、自分で可能性を大きくするやり方は、たくさんあると思えます。だから私も、自分の夢を叶えるために、今からたくさんの事を学び、可能性を大きくしていきたいと思えます。そして、絶対に自分の夢を叶えたいと思えます。

今日の林さんの話を聞いて、「可能性」という事を、自分の中で考える機会ができてよかったです。

2年6組28番 谷口 友理衣

今日は、「可能性を信じて」というテーマでイズミヤ代表取締役社長の林 紀男さんが講師としていろいろと話して下さいました。林さんは初めに「チャレンジが大切です」とおっしゃいました。そして、自分自身の経験を通して「チャレンジすることの大切さ」を私達に教えて下さいました。林さんの半生にはたくさんの困難があったそうです。就職してまもなく病気になって背負った1年4ヶ月というブランク。バブル経済崩壊による不良債権問題。イズミヤの再建。林さんはこの様な困難を経験する中で「チャレンジ」と「考えを前向きにし、また目的を明確にする」ということが重要だと考えたそうです。

私は林さんの講演を聞き、もっと何事にもチャレンジする心を持って取り組もうと思いました。今まで私は、失敗することを先に考えてしまいチャレンジするということをあまり考えませんでした。いつもどこか逃げ道を探して安全な道しか選んでこなかったように思います。もうすぐ高校3年生。今年は大学受験もあり、将来のことを真剣に考えなければならぬ時期です。私は実際のところ具体的に将来どうしたいかは考えていませんでした。でも、林さんの講演を聞き、もっと具体的に将来の事を考えようと思いました。そして、自分の可能性を信じて今度はチャレンジしてみようと思っています。おそらくこの先、私はたくさんの困難にぶつかると思います。でも、そんな時は「前向きな考え」を持って、あきらめずに乗り越えていきたいと思っています。

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。

特集

私の観た若人氣質

手抜きは「心抜き」

高5期生 蔵野圭一



日本の四季は美しい。これから

も向日葵、蓮の花と暑さの中でも凛と咲く姿は、とても元気を与えてくれます。だが人間社会は、戦後六十年も過ぎ、華やかな枝葉がもてはやされた時代から地味だけれども決して欠かせない根本に立ち返る時代になるのではないかと思っています。

少し具体的に考えてみると戦後六十年間、日本の人口は増えることが当然と考えられて来ましたが、しかしこれからは人口は減るものと考えなくてはなりません。少子高齢化は暫らくすすむと思いません。

野心・野望

敗戦後の日本人は貧しさの中から出発しました。親の苦勞を肌で感じ、親と共に「生きる」ことへの執着がすごくありました。やがて勤勉な日本人は、知恵や工夫をして、テレビ、洗濯機、便利な電器製品がつくり出され、コンベア

に乗って大量生産され、庶民の手にも求めやすくなりました。次に車や自分の家も欲しい、海外旅行にも行きたいな。大方の人がこの一念でやってきたのが戦後六十年でした。

私は野心、野望が必ずしも悪いものだと思いません。一つの大きなエネルギーの源だと考えます。

ここにきてあれも欲しいこれも欲しい時代から、それを捨てていくかを考える時代になってきました。

野心、野望は小休止です。

今の子ども観

私は高校生は外から観ているだけですが、小中学生の姿は仕事として、よく観察してきた、心算です。少なからず八年間現場を見てきました。親や教師の目に映ったことを含めて気になることを挙げる

- 1. テレビ、ゲームの影響か、非常に読む力、文章力が弱くなって来ています。テストなどで問題の文が長くなると、何を求められているのか理解が遅い。
- 2. 大人もそうだが、他人とかわる力が弱くなって、面と向つ

て、自分の意志や考えを会話でするよりも、携帯メールでのコミュニケーションに頼る傾向がみられる。

3. 自分の感情をコントロールできずに、僅かなことで腹を立てたり、逆に落ち込んだりしやすい。自分の内面に立ち入ろうとせず他人のせいにして済ませる。

4. 生活様式の変化により、子どもが帰ってきて、家の仕事を手伝える機会が極端に少なくなった。体験がないから生活上の知恵や技術を身につける場面がなくなり協同作業等のお互い助け合うことが何か、分からなくなってきた。 (例えば火の扱いが分からない)

5. パソコンやゲームを使う力など情報技術に関する能力、国際交流、ボランティア活動の経験などは以前よりすぐく向上している。それを基盤とし、どう応用し発展させるかが心もとない。

6. いやなことでもやり抜くと云う、厳しさがなく、耐えることを回避しがちだから、逆に苦勞や不便のないことが、結局子ども達の苦勞につながってしまう。地域や教員との関係など、かつてのそれと異なると、全体を見たり包む力が少ない。

志をもたせる(掴む)

先のカンヌ映画祭でグランプリを受賞した奈良の河瀬直美(37)監督は世界の映画人の前での挨拶で、「人は形あるものによりどこ

ろを求めようとするが、満たされるのは一部。目に見えないもの、誰かの思い、光、風、先人の言葉、面影、先輩の励まし、そう云うものに心の支えを見つけた時、たった一人でも立っていられる、人間ってそんな生き物なのだと思います。」万雷の拍手があったと云う。

志と云うものは、教えられるものなのかと疑問をもつが、「まるで人が変わったようだ」と表現したくなるほど変わる人があります。ある学者は、眠っている「遺伝子」がオンになれば人が変えられると云われています。私は感動が大切だと思います。よい出会い、環境によつて新しい芽がでます。

先日都立校で、「先輩力」が伝統校、復興を後押し「夢や挫折を語る会」で成果を上げたと報じられていました。耐久高生は「人間的魅力」「思いやる心」が高いと思います。今、東京や大阪のOB会が力強い風を送ってくれ、地元でも支えてくれているのが嬉しいかぎりです。志を高く姿勢を低く未来に逞しくはばたいてくれることを期待しています。

プロフィール

- ・湯浅町出身
- ・耐久高校5期(昭和28年卒業)
- ・立命館大学卒業
- ・元本校PTA会長
- ・前湯浅町教育長

絆 母校の発展を祈念して 和

高校4期同窓会 (S27卒)

東京グループ ・ 浪速4期会
めだかの会(和歌山) ・ 白魚会(湯浅)

頑張れ耐久球児!!

下野 憲 英 (高13期)

株式会社 柏原運送

柏原 政夫美 (高19期)

石田川町天満 328-2
(会社) TEL (0737) 52-5235
(自宅) TEL (0737) 52-3426

「同窓会館建設」夢の実現にご理解とご協力を!

関東耐久会名誉会長

故高居富一君を偲ぶ

関西耐久会名誉会長 阪本 禎 三



一、黒潮たぎる紀伊の海、

松常磐なる那耆の浜

吹く潮風に雄々しくも

聳えて立てり耐久舎

二、歴史に映ゆる学びやの

礎遠し嘉永の世

英偉の心今も尚我等が

胸によみがえる

この歌詞は旧制耐久中学の「三一會」と言うクラブ活動の応援歌で高居君が最も愛唱した歌でした。平成十七年十月三十日、耐久高等学校同窓会総会の席上、高居君、高垣君との合唱で会を盛りあげたことは今は懐かしい思い出となりました。

私達、旧制、和歌山県立耐久中学の三十五期生として卒業したのは昭和十七年三月、当時は太平洋戦争緒戦の戦果で国内は昂奮の坩堝と化して居



りました。卒業生は七十七名、彼は抜群の成績をもって首席で卒業されたことは記憶に新しい。旧制姫路高等学校を経て東京大学工学部を卒業。昭和二十三年より同四十年に至る十七年間、一流企業である鹿島建設(株)、電源開発(株)に勤務。貴重な経験を体得し、同年一月「INA新土木研究所」を設立。国家の基幹産業であるダムを中心とした水資源開発という建設コンサルタントです。先端情報管理シス

テムを如何なく駆使し建設業界への貢献計り知れず。今日の数百人を擁する知的技術集団企業として、ゆるぎなきポテンシャルティを育成されました。

創業後間もなくINAを訪問時「阪本君、私はこれから会社を運営していくのですが人事における基本理念は『村意識』をモットーとして社員と共に歩んで行きたい」と吐露されました。衆知の結果と団結力は経営の基盤であるという彼の躍如たる「企業は人なり」の経営哲学としてその信条を確立して居ました。私は旧制水産講習所(現、東京水産大学)を卒業後、八年間、水産業に従事した後、化学工業薬品業界に転じました。このように社会人として異なった分野に進んだわけですが

から旧交を温める機会はまだ、情緒不安定な中学生時代となります。その往時に還りますのは年に一度の同期会です。ある日の歓談時、杯を酌み交わしながら彼は「如何に社業が多忙でも同期会だけは必ず出席する」と、毎年、遠路東京から和歌山県有田の地に参加されました。最後の会は平成十七年十二月九日、高垣君のお世話で湯浅町にて開催。友情極むるることなし。

平成十八年五月十三日、関東耐久会の開催時、病院より酸素ボンベ携帯にて出席。隣席の私に「四万十川の視察に体調不良ながら強行し間質性肺炎に罹った、高齢故無理は禁物」との忠告を受けましたが、これが最後の会話となり、平成十九年二月十九日遂に黄泉の人となられました。

告を受けましたが、これが最後の会話となり、平成十九年二月十九日遂に黄泉の人となられました。

クールな知性派にして熱血漢、温厚篤実な全人格は広い人脈を有し、その知力は先見性、決断即実行という経営トップの資質が今日の素晴らしい企業「INA」を築きあげられました。畏敬と共に限らない賛辞を送って己みません。

人生は永く広いとは云え、温め合い睦み合い扶け合って親密に往来出来る仲間が親族、職域、地域、同窓等限られた人数であります。血肉を分けた縁者よりも良き友は生涯の財産であり宝であると思いつつながら人生は匆忙として暮れていきます。

故郷を愛し、母校を愛し友を愛した高居富一君にグッドバイを叫びたい。
平成十九年六月

短歌三首

一、観音のみ手に引かれて逝くらんか

浮き世偉大な事業残して

二、那耆の海たゝふる波よ潮の香よ

肩組み歌いしかの応援歌

三、うつろへる茜の雲に君の影

浮かび懐かしむ初夏のたそがれ

この歌は安野谷泰佑様(私の竹馬の友で旧制中学三十四期生)の教えをいただいたものです

第6回 関東耐久会総会・懇親会

副会長 前 郁夫

五月晴れの去る5月12日関東耐久会の第6回総会及び懇親会が、池袋のホテルメトロポリタンで開催されました。

当日は、会員64名のほかご来賓として下野耐久高等学校同窓会会長・横山関西耐久会幹事長・田辺和歌山耐久会会長及び山崎耐久高等学校校長先生にもご出席していただきました。

今年度は、初めて女性による司会者として42年卒業で副会長の小島さんが務めることとなりました。冒頭に、去る2月19日にご逝去されました当会の名誉会長であり、関東耐久会の発足にあたり物心両面よりご尽力いただきました前関東耐久会会長の高居富一様のご冥福をお祈りし、出席者全員で黙祷を捧げました。

総会に先立ち校歌を斉唱し、九鬼会長の挨拶により総会に入りました。会長からは「関東耐久会発足に当たり取り纏めをして頂いた故高居会長の功績をたたえるところにも、座右の銘である【信は往来にあり】を役員一同肝に銘じ会の発展に努力して参ります」との決

意表明がありました。

その後、各議案を役員より説明し滞りなく審議が行われ約30分で総会が終了いたしました。

続いて、当会のために遠路ご出席いただきましたご来賓の皆様をご紹介のあと、恒例のアトラクションは中村監事にご紹介いただいた、薩摩琵琶奏者の友吉鶴心先生による「平家物語敦盛」の弾き語りでした。

琵琶の弾き語りを聞く機会はなかなかないので、静寂な会場に響きわたる琵琶の音と「祇園精舎の鐘の聲 諸行無常の響きあり」に始まる弾き語りには、参加者一同大感激でした。

約15分の休憩の後懇親会に入り



ました。が、最初にご来賓の皆様を代表して下野同窓会会長及び山崎校長先

生のご両名よりご挨拶を頂きその後、当会の顧問をして頂いています「神山定夫先輩」のご発声により懇親会が始まりました。

会場には、地元の「なれ寿司」も取り寄せられ久し振りに故郷の味を堪能するとともに食べきれなかつた分については、参加者の皆様がお持ち帰りになるという程の好評でした。

会員は、一年ぶりの再会で学生時代の思い出、地元の話題、近況等を語り和気藹々のうちに時間の過ぎるのも忘れ楽しい懇親会となりました。また、今年度の活動計画についてもお互いに参加を呼びかけ2時間30分の懇親会は大盛況でした。

最後に、大野副会長の締めにより来年の再会を楽しみにして今年度の総会及び懇親会は滞りなく終了しました。

懇親会終了後は、久々に会ったため同期会をするグループ、又会

場での参加者有志での2次会を行うグループ等が池袋の繁華街に繰り出して大いに楽しんだことと思えます。

その意味でも遠く湯浅の地より関東地区に来て活躍している同窓会の友の集まりとしての、関東耐久会の使命は十分に果たしているのではと思います。

関東耐久会としては、今年度の参加者が昨年より若干少なく今後により多くの同窓生の参加を頂くこと及び新規会員の入会がほとんどない現状をどのように改善していくかが今後の課題と言えます。

今後は、学校や同窓会本部とも連携をとり、関東地区在住の同窓生の入会を促進するとともに、より多くの会員が参加できるレクレーションの企画等を通じて、会の親睦と発展を図ることが重要ではと考えています。

関東地区在住の方をご存知でしたら是非事務局までご連絡いただければと思います。

関東耐久会事務局

郵便番号 160-0022

東京都新宿区新宿 1-3-12

1002

株式会社

オフィスココ桜バンケット

☎ 03 (3359) 9520

蔵野製材(株) ホームセンタークラノ

蔵野 圭一 (高5期)

湯浅町湯浅 2735-1

教育界の改変の今こそ... 母校への更なる支援と関心を!

橋本印刷所 (高4期)

チカワ動物病院

千川 益生 (高30期)

有田川町水尻 TEL 52-6152

金山寺みそ 醸造元
か 垣内みそ店
垣内 欣久 (高15期)
本店 湯浅町加所 342-1
TEL (0737) 63-5855
和歌山店 和歌山市里 45-1
TEL (073) 462-7003

関東耐久会 第四回日帰りバスツアー報告記

平成十八年十一月十九日、故郷の山々がみかん色に輝く季節、天候はこの秋一番の冷え込み、あいにくの雨の一日でしたが、私達関東耐久会は恒例となったバスツアーを開催いたしました。今年は進路と神奈川県方面にとり、キリン横浜ビアビレッジ見学↓横浜赤レンガ倉庫パークでの昼食↓神奈川県立生命の星地球博物館見学と充実した内容でした。参加者は、饗鏝たる八十八才神山顧問を筆頭に小学生のお子さんまで総勢二十八名。まさに世代を越えた耐久ファミリー勢揃い。今回は特に、奥様とお孫さん二人を同行された御家族が一行の雰囲気さらに温かく和やかにして下さり参加者を喜ばせて下さいました。

さて、バスは定刻八時四十五分、東京駅近く鍛冶橋駐車場を横浜へ向け出発。発車を待たずして早くも後部座席ではミニ同窓会が盛り上がり中。さながら耐久高校の廊下で笑い興じる女子高校生の如く。一方では静かな会話を楽しまれる方々と…。バスの中はまさに交流の場。

高速道もスムーズに走り、あっという間にキリンビアビレッジに到着。工場のイメージとは程遠いリゾート地の様な緑の庭園と瀟洒

な建物が私達を迎え入れてくれました。まずはエントランス広場にて記念撮影。全員、満面の笑で「ハイ、ビール！」続いて朗らかでとても感じの良い案内嬢に導びかれビールの歴史から美味しいビールの誕生までを見学。日曜日で生産ラインは動いてはいないものの仕込み、発酵、貯蔵、充填の流れが展示物やビデオで大変分かり易く説明され、一気に飲み干すビールも大事に味わっていただかねばと認識した次第です。一八七〇年に横浜山手に日本初の工場が開設されたのが発祥とのこと。今日に至るまでのたゆまぬ企業努力の一端を体感することができ、特に、環境保全活動の努力に敬服いたしました。見学の締め括りは、もちろ



ん造りたてのビール(ジュース)の試飲。皆でテーブルを囲み和やかに歓談しながらいただく味は又、格別。おかわりされるビール覚も。ビールの香りと楽しいお喋りにホンノリ酔いを覚えつつ、雨の中案内嬢に見送られ、次なる横浜赤レンガパークへと。明治から大正にかけて建設され震災や戦災にも耐えた歴史的建造物が今や横浜の人気スポットとなっていること。この建物内のレストランでのコース料理が本日の昼食。歴史の重みが優しくぬくもりのある空気を醸し出す建物での食事は又、格別なもの。とても美味しい料理を大テーブルで大家族で和気あいあいと楽しむことができました。懐かしい故郷のこと、有田高女、耐久の思い出話、近況あれこれ等々、会話が弾み満腹、満足、幸せな一ときでした。

雨に煙る港ヨコハマを後に、いよいよ最後の小田原にある神奈川県立生命の星地球博物館へ。恐竜の化石、隕石など多彩な展示品一万点を誇る博物館。大人から子どもまで必見の博物館との評判通り見応えのある展示物に圧倒されるばかり。あちこちから感嘆の声…。展示物に見入る参加者である小学生のお子さん二人のその目の輝きがとても印象的でした。館内を一巡して、ビール会社の地球環境保全努力も赤レンガ保存努力も全て、この偉大なる愛しい「地球」への「愛」に繋がると思う

と、今回のツアーを企画立案して下さった方の見識に改めて感服いたしました。

生命の星「地球」への感動の余韻を胸に今回のスケジュールも無事終了し、帰路へと。この地小田原から、途中横浜からと順次別れを惜しみつつ…。午後六時三十分雨脚強まる中、バスは東京駅に無事到着。

世代を越えた同窓生が和やかで楽しい時間を共有することができた。本心に心満たされる一日でした。年配の方々とは故郷の両親を思いながらお話しさせていただくことができました。母校で学んだ日々、若き日の思い出、表現し尽くせない母校への思いは人生を豊かに彩るエッセンスでもあると再認識することができました。

残念ながら今回参加されなかつた方、一人での参加は不安と思われの方、大丈夫です！皆、耐久の同窓生という「絆」があるのでから。同級生と誘い合ってミニ同窓会とするのもよし、老若男女を問わず当日の出会いを楽しみにするのにもよし、と。

最後になりましたが今回の行事を開催するにあたり陰に陽にご尽力下さった方々、さらには、関東耐久会を支えお力添え下さる関係各位に改めて心より感謝申し上げます。

副会長 東山 実子

DUNLOP
株式会社ダンロップファルケン近畿
有田営業所
〒643-0005 有田郡湯浅町大字稻原字横田82
TEL.(0737)63-4001 FAX.(0737)63-2993
E-mail:62062631@knkdunlop-falken.co.jp

法眼米穀店
湯浅 62 - 2438
法眼きみえ (高女12期)
法眼 貞子 (高19期)

塗装のことなら
中内塗装
中内 祐也 (高45期)
湯浅町山田 10-13 TEL 63-3769

阪和工業株式会社
社長 西本 英幸
有田郡湯浅町吉川 195-7
TEL (0737) 63-6251

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。(事務局)



耐久回顧

先生の涙

(旧中四十二期) 児島 武彦

もう六十年以上前になります。旧中三年生の一学期、私達の担任は齋藤先生でした。

当時の校舎は(勿論松林に囲まれた広校舎)、今も残っている体育館を除いてかなり古びた木造校舎で、本館は正面玄関を入ると職員室などがあり、二階は講堂になっていました。

何の時間であったのか全く記憶がありませんが、私達は講堂にいました。他の組もいたように思うので、三年生全員だったかも知れません。

前の席の方が何やらザワザワした空気になりました。下の職員室から謹厳冷徹、近寄り難さを持って鳴る某先生が上がってきて激怒しているのと、あたりで誰かが床をガタ

全員の責任であるということ、担任から全員ピンタという結論です。

やがて先生は端から一人ずつ平手打ちを始めました。

ピンタは当時珍しいものではなかったのですが、私達も観念して順番を待っていました。一組は五十人ぐらい、整列は大体背の順で、私は最後尾のあたりになりました。かなりの待ち時間、それでもだんだん近付いてきて、先生の「コノヤロー、コノヤロー」という声と「バシッ、バシッ」という音が聞こえてきました。両足をやや広げて態勢をとり身構えました。いよいよ隣、次が自分という時、先生の顔見てビックリ仰天！先生の目にキラリと光るものが見えたのです。

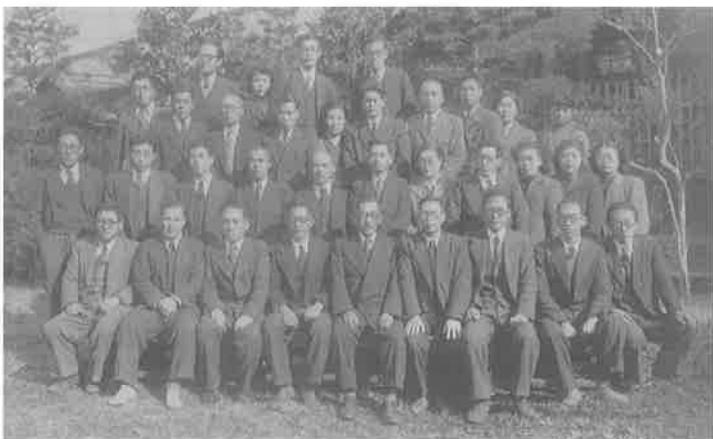
「先生が泣いている……。」全く思ってもみなかった事なので、叩かれた痛さや叩かれた事さえ感じない程の驚きでした。

その後、前号まで本誌

に連載されていた「耐久回顧」に紹介された由良の航空燃料廠への動員や天皇山での塩田作業など、先生の担任の下での毎日がしばらく続き、やがて終戦の日を迎えました。

卒業後も含めて、先生の生徒に対する姿は良寛和尚が子供と過ごしている雰囲気と重なるような感じで、多分生徒が心底可愛かったのではないかなどと今も思ったりします。そんな先生があのような行動を執らざる得なかつたのには、生徒には分らない職員間の人間模様もあつたのかも知れないなどと、サラリーマン生活を送っている頃にふと思つたこともありました。

色気も艶気もない思い出の一駒です。



S23年 新制高等学校発足時の職員一同



S17年 旧制中学「広尚志会」

<p>田辺法律事務所 弁護士 田辺 善彦 (高14期) 〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2 TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2299</p>	<p>保険コンサルタント/ファイナンシャルプランナー 和歌山FP総研 代表 川島 忠弘(高37期) 〒640-8331 和歌山市美園町5-6-12 TEL 073-424-6611 FAX 020-4624-8330 E-mail:tada315@ybb.ne.jp HP:http://www.geocities.jp/wfp_soken/</p>	<p>株式会社 和通 代表取締役 中田 實宏 (高17期) 〒640-8341 和歌山市黒田279-4 TEL 073-475-0310 FAX 073-475-0320</p>	<p>小畑産業 株式会社 代表取締役 小畑 英三 (高18期) 〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地 TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505 ei-kobata@kobatasangyo.co.jp</p>	<p>大橋歯科・矯正歯科 大橋 寛治 (高14期) 大橋 一範 (高46期) 予約制 TEL (0737) 63-6480 有田郡湯浅町島ノ内 1267</p>
<p>和歌山耐久会についてのお問合せ・ご提言は何なりとお申し付け下さい。 ☎ 073-475-0310 和通内</p>				



高女二十四期生の集い

長坂 美智子

昭和十九年八月、有田高女二十四期生は、明石の川崎航空機工場に、学徒動員生として出勤しました。

戦火も厳しくなった昭和二十年一月十九日の明石空襲、命がけで私達を守って下さった故四ノ宮先生、寮まで四kmの道を疲れていた私達を、何時にない厳しいお顔、お声の「走れ」「走れ」という励ましに背を押される思いで走り抜



けた日。
この日のことも、私達二十四期生にとつては忘れてはいけない日なのです。

「神風に吹き飛ばされし」

青春を追い掴まえる術

知らぬまま老ゆ」

大東 重代

毎春恒例のクラス会、還暦は和歌山「加太」で、古希は和歌山「マリーナシティ」。

そして傘寿を迎える今年、和歌山城を目前に望む新しい「ダイワロイネットホテル」。

時候も不順で心配しましたが、開花を待っていてくれたかのように「桜」は満開。私達二十四期生を暖かく迎えてくれました。

お世話をさせていただいた和歌山在住の私達も本当にうれしく、ご出席の皆さんも心から喜んで下さいました。

出席人数も少なくなりましたが、二十三名の方がご参加下さり、和やかなクラス会となりました。

私達には卒業写真もなく卒業式は工場の寮の中。家族の参加もなく、先生と私達だけ。せめてもの心尽くしと、珍しく白いご飯にカレー。少し涙をこらえながらも美

味しくいただいた記憶は忘れられません。

何も無い時代、こんな青春を一生懸命に生きた私達二十四期生は、みんな仲良く本当に強い絆で結ばれています。

ホテルの美味しいお料理をいただきながら、亡き友を偲びつつ丘の桜、

《千の風になつて》

「泣かないで下さい」の詞

そして

《六甲風》を全員で合唱。

「戦たりし乙女は熟女と

はやなりて

六甲風でクラス会終了」

大東 重代

楽しい時間は短く、お天気にも恵まれ、当日開放された屋上で、満開の桜の中に佇むお城を満喫し、一瞬の刻を惜しみつつ、来春の再開を約して終了しました。

皆様のご健康を祈りつつ遠来の友、そしてご参加下さいました友、皆様に心からお礼を申し上げます。

本当にありがとうございます。来春も元気で笑って集いましょう。

同窓会アーカイブス

齋藤 春太郎

会報発刊の頃

昭和四十三年一月、卒業生待望の同窓会報「耐久」が発刊された。当時の会長の堀田健三氏は巻頭言の中で、会報を全卒業生の心の拠り所として、お互いの友情と向上を図り、母校の良友となつて御後援いただける一助ともなれば…と述べられている。紙面に目を転じると、

①会長に堀田氏再選。

副会長 長四氏も留任とあり、

・東 銀 一氏 (旧耐中)

・松本 やゑ子氏 (旧高女)

・幸田 保氏 (耐久高)

・今井 淑子氏 (耐久高)

などの懐かしい名前が見える。

②「今こそ新校舎を！」

校長 坂口 俊夫

老朽化した校舎について、「建物というものは第二義的なものだが、この環境が生徒にどんな影響を及ぼすかを考えた時、このまま放っておくことは出来ません。」と、新校舎建設への願いを吐露している。

—— 母校の充実と発展を祈る ——

旧制 耐久中学校 42期 (S23年) 匿名

ペットと泊まるログハウスの宿
パートナーズハウスゆあさ
横山 享
(高14期)
湯浅町山山山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL: http://www.partnershouse.jp

橋本和明がつくる身につける彫刻
シルバークセサリー

下記のショップで好評発売中!! お気に入りの一点を見つけに来ませんか?
和歌山県立近代美術館・彫刻の森美術館・ギャラリー・アサンブラージュ (愛知)
橋本印刷アートコーナー (湯浅町本町)

お問い合わせは TEL 0737-63-4077

インターネットでも! <http://www.k5.dion.ne.jp/~castyl/>



高4期

今年は
富士五湖めぐり

今年の4期生の同窓会は、

東京近郊在住の「東京グループ」が担当し、「行ける時に連れもていかんの…」を合い言葉に、一泊二日の富士五湖周遊の旅を企画した。

恩師、広井隆先生も参加して下さり総勢四十二名の参加となった。

五月二十七日昼すぎ、関西グループと東京グループが新富士駅に集合。久しぶりに顔を合わせたこともあり、改札口は賑やか。富士山の出迎えを受けながら早速バスに乗り、国の天然記念物である「白糸の滝」を見物。天気の良いこともあり、木々が緑に輝き、富士山がどこまでもバスについて来てくれ、一同楽しい遠足気分。

新千円札の裏に使われている「本栖湖」では千円札をとり出し、景色を千円札と比べ「ここだ、あそこだ」と確認した。

さていよいよ宿に到着。宿は河口湖に面し、静かなところだ。どの部屋からも富士山が見える。おいしい夕食を前にして、この日のために、人知れずきびしい練習を

重ねて来た芸達者が、その成果を皆の前で華やかに披露。みんな「彼はそのうち一流のスターになる」と太鼓判。



翌朝、「四時過ぎに起きて部屋から富士山のご来光を見た。あんな美しい景色は初めてだ」と興奮ぎみ。「早起きは三文の徳」とはこのことか。

宿に別れをつけ、バスで五合目まで行く。五合目から見ると富士山はすぐ目の前にせまり、ここから頂上まで簡単にかけ登れそうに見える。

次にバスは「忍野八海」へ。こは富士山の溶岩をくぐり抜けた伏流水が二十年以上の歳月をかけて地中をろ過され湧き出た湧水群。国の天然記念物に指定されている。富士山からこんなに近いのに、二十年以上もかけてここに湧き出て来るのは、「一体どこを回ってきたの？」と心の中で問いかけ

た。吸い込まれそうな美しい、澄んだ水を眺めながら環境問題の一つとして美しい水の確保に少しでも協力しようという心を決めた。一般に富士山は二日間も晴れて旅人を見守ってくれることは、珍しいと聞いた。それだけでも幸せな二日間だった。みんな子や孫に小さなおみやげを手に、富士山の見送りを受けながら「連れもていなんか…」と帰路についた。

日高玉恵

関東耐久会

- ◆ゴルフ&小旅行
日程：H19.9.13(木)~14(金)
宿泊：北軽井沢 クリオコート
コース：バルコール瀧恋 GC
※ゴルフされない方も参加できるプランを検討中。
- ◆バス旅行
日程：19.10.27(土)
コース：都内「はとバス」ツアー、東京新名所を含め、検討。

関西耐久会

- ◆平成19年度 関西耐久会総会
日程：H19.9.9(日)
場所：シティープラザ大阪
TEL 06-6947-7888
地下鉄「谷町四丁目」駅
「堺筋本町」駅 徒歩7分
行事：講演会10:30~11:40 (講師 津村建四朗氏)
総会12:00~12:30
懇親会12:30~15:00
◆秋のゴルフコンペ [11月]

支部活動のご案内

③優勝旗は永遠に
相撲部先輩の偉業

全国高等学校相撲選手権大会優勝旗が本校校長室に永久保存されるに至った経緯、併せて相撲部先輩達の活動振りを紹介。

④有田高女同窓会総会の記

参加会員五八三名・旧職員二四名という曾て例を見ない盛会の様子。エピソード等第二面を埋め尽くす記事、そのエネルギーに圧倒される。

⑤京阪神「耐久同窓会」の近況

松本 績氏

「耐久同窓会」が大正十一年に創設されたこと、以来活発な活動を展開されたこと今後の課題等が紹介されており、先見の明に驚かされる。

⑥編集後記

第一号は、発刊の言葉や挨拶が多くなり、会員各位からのお便りや動静が掲載出来ずご不満の点多々あるかと思いますが、次号からは内容を充実したいので、記事・写真などどしどしお送り願いたい。

今私達が抱えている課題のコピーのようで、同じ悩みを抱えている私達も共感出来て面白い。

がんばれ母校！

高校4期生 (S27年)

熊ノ郷安生・吉田俊彦・中邑信五・小川禎一・宮井昭治
橋野隆平・池田幸世・橋本佳己・西邑 孝・上野山和夫

津村 建四朗 (高4期)

〒267-0066
千葉県緑区あすみが丘4-39
ガーデンコート社の街営番館408
TEL 043-295-1935

めざせ甲子園—不断の努力

球想会 (高4期)

上野山和夫・中邑信五
五百崎博己・橋本佳己



株式会社 二チエイ

代表取締役 榎 永純一 (高4期)

神奈川県大和市代官2-2-24
TEL 046-268-4520
営業所・座間市入谷 第二工場・横濱市寺尾台

絆 美術部の巻



現在、美術部は1年生8名、2年生4名、3年生3名の計15名で活動しています。基本的に毎日活動で、油彩画、水彩画、木炭・鉛筆デッサン、彫塑、デザイン画など本人が希望するものを基本に制作しています。また、彫塑に関しては、週1回、彫刻家として活動されている先生にきてもらい、ボランティアで教えてもらっています。

今年の夏のスケッチ旅行は、

箕島・桐蔭・伊都・本校の4校で、京都の鞍馬に行く予定です。

暑い中ですが、多くの歴史的建造物や景色を見て、いつもとは違った雰囲気の中で、また、他校の生徒や先生との交流の中で、視野を広げてスケッチができたら...と思っています。

本年度は美大受験希望者も何人かいるので、秋は芸大祭と美術館にも行く予定にしています。大学生がつくる、スケールの大きな作品や、美術館の雰囲気や展示方法をみて、今後の進路や作品作りのヒントになることを期待しています。

制作室は、和気あいあいとしています。時間がかかっても、自分に合う表現方法を模索しながら、観察力や感性を磨いていってほしいと思っています。そのためには、継続して作品づくりに取り組む必要があります。ですから、先ず制作室に居付く習慣を、そして仲間と意見を交わしながら作品づくりに取り組み、産む苦しみやかたちになる喜びを経験・共有し、個々を認め合える柔軟な心を育ててほしいです。

顧問 山口智子

Echo!



同窓歌壇

同窓川柳 寺田裕美 (高5期)

多数決風の力は侮どれぬ
西 邑 孝 (高4期)
腹の立つ蟬のガキまでジジと鳴く

大 門 慶 (高女21期)

みどり児の夢のあなたに微笑めり
誰もものぞけぬ刻遊ぶらし
西 島 志げ子 (高女26期)

遠く来て群がり飛び交う螢火に
雪時雨上がりし出湯の道すがら
山 際 ヒ 口 (高女26期)
月煌煌と足もと照らす

◎夏の甲子園で校歌が連日流れている。いずれも、詩、曲、共、素晴らしく各々校風が偲ばれる。勝利に酔い母校の校歌を歌う紅顔の生徒達には、一生の心の宝物となろう。置き換えて、日本国歌もかく誇りを持って受け入れられればと少々残念な思いである。政治、イデオロギーを超え、日本人として国歌、国旗を敬愛する国民の思いが自然に高まらねば、この国の将来はない。因みに、他国民の自国のそれらに対して、崇高な姿がスポーツ等で、しばしば見られる。せめて、母校の校歌や君が代ぐらい胸を張って歌えるよう努めよう。
(旧中S23年終了生)

◎今、教育改革が大きな話題になっていますが、少子化と進学を考えての私学指向。それに、学区制撤廃による学校間格差とか、公立校での中高一貫(小中一貫)で親子さんそれに現場の先生方も大変だろうと思えます。さてさて、そこで耐久は...?と気になるのは私人だけではないでしょう。
(心配性の老婆)

◆ご献金に感謝

森三男三郎先生より多額のご献金を頂きました。厚く御礼を申し上げます。郵便振替によりご協力ご支援下さった多くの皆様にも感謝申し上げます。

『編集後記』

本年度から山崎正互校長先生をお迎えし、本誌のためにご挨拶の寄稿を頂きました。

今回の特集として、長年、湯浅町の教育行政にご尽力され、偉大な功績をあげられました前教育長蔵野圭一氏に子ども観や耐久高校生へのエールを頂きました。

関東耐久会の発足やその後の様々な活動に貢献されました故高居富一名誉会長様のご冥福をお祈りし、謹んで追悼の意を表します。

また関西耐久会の濱口梧陵翁を偲ぶ「ルーツを訪ねる会」は広川町あげて歓迎する素晴らしい会となりました。

さらに各期同窓会開催の記事や川柳・短歌を投稿して頂きました皆様方、有難うございました。これからもたくさんの方の寄稿をお待ちしています。

二年に一度の総会を十月二十八日(日)午後一時から湯浅町地域福祉センターで開催致します。今年は趣向を凝らし、「生ける神濱口梧陵」の朗読劇を計画しています。皆様お誘い合わせの上是非ご参加ください。

本会報も二十号という節目を迎えました。今後とも皆様方のご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。